

新型コロナワクチン接種について

接種を希望される全ての方に、10月末までに接種いただけるよう万全の体制を整えておりますので、安心してお待ちください。

<接種の流れ>

1 予約もしくは事前登録をお願いします。

個別接種の場合

お近くの診療所・病院等へ直接予約
※持病がある方は疾病等を把握している病院等での接種(個別接種)を推奨しています。

集団接種の場合

下記のコールセンター・ポータルサイト等で
事前登録

ご案内は先着順ではないので、安心して登録してください!

※ご登録後、接種から概ね1週間前に接種日時・場所をご案内します。

2 予約された日時・場所で接種をお願いします。

接種券、本人確認書類、予診票等をお忘れなく!

※接種は強制(義務)ではありません。接種による感染症予防の効果や副作用のリスクを理解していただいた上で、ご本人の同意のもと、接種を受けていただきます。



<新型コロナウイルス感染症予防接種証明書について>

京都市では、海外渡航予定がある方を対象に新型コロナワクチンの接種を受けたことを証明する「新型コロナウイルス感染症予防接種証明書」の交付申請を受け付けています。

●対象となる方

京都市が発行した接種券を用いて新型コロナワクチン接種を受け、海外渡航予定がある方で、当証明書を必要(※)とされる方

※各国への入国時に防疫措置の緩和等のため、証明書の提示を求められる場合を想定

●申請方法

必要書類をコールセンター(接種証明書担当)へ郵送してください。申請受理から(必要な書類が全て整ってから)当証明書の交付までに、1週間から10日程度かかります。

必要書類や郵送先等の詳細については下記のポータルサイトをご覧ください。



京都市新型コロナワクチン接種コールセンター
☎0570-040808 / 950-0808 FAX950-0809
(受付時間: 8時半~17時半、土日祝含む)
※通話定額プラン等でも料金が発生します。



京都市新型コロナワクチン接種ポータルサイト
<https://vaccines-kyoto-city.jp/>



夏休みは子どもの被害にご注意を!!

学校が始まってからも役に立つよ!



夏休みは子どもだけでお留守番をしたり外へ出かける機会が多くなり、子どもたちを狙う事件が増える季節です。大切なお子さんが犯罪被害に遭わないため、夏休み中に以下のことを確認しましょう。

1. 危険な場所を確認する。

日中であっても人けのない場所は危険です。人通りの多い場所やお店の多い場所は周囲の目があり比較的安全です。家の周りの危険な場所を事前に確認しておきましょう。

夏休み中は車の往来が増えるので、交通事故の危険についても一緒に確認しましょう。

2. 外出時の約束事を確認する。

お子さんが一人で出かけるときは、「誰と、どこで、何をするか、いつごろ帰るか」を必ず確認し、習慣化しましょう。また、知らない人についていかないようにしっかり教えましょう。

3. 留守番時の決まり事を確認する。

鍵を開けて入るときは周りを見てから入る、インターホンや電話には出ないなど、決まり事を事前に決めておきましょう。

4. 防犯ブザーを携帯させる。

突然襲われたときは、声が出ない場合もあり危険です。外出の際は必ず防犯ブザー等を携帯させるようにしましょう。



中京区民まちづくり支援事業 補助金交付事業を決定しました!

中京区役所では、自主的なまちづくり活動に補助金を交付しています。今年もたくさんのご応募をいただき、7件の補助金交付事業が決定しました。

団体名	事業名
アガペー	非定型発達・不登校やその家族のための支援事業
エビバデ京ほっぷ	ホップ栽培による地域のつながり創出事業
prologue (プロローグ)	移住者と地元住民をつないで創出する魅力あふれる安心・安全なコミュニティ
認定特定非営利活動法人 FaSoLabo京都	食物アレルギーを地域で学ぶプログラム
京都・子どものミライ作り ポレポレ	子どもミライ作り(不登校や障害のある子どもとその保護者のための居場所づくり)プロジェクト
休日余暇支援活動 じゃりんこ	親のコミュニティづくり (障がい児を育てる親の交流の場)
GG's者語	高齢者が自分史を語るカフェ「GG's者語」 ~高齢者の地域デビューイベント~

問合せ 企画担当(☎812-2421)

(申請番号順)

※備蓄のすすめ
地震発生直後は、支援物資から必要なものを得ることは困難です。アレルギー対応食や妊産婦、乳幼児、高齢者等に必要物資など、各家庭で必要となるものは日頃から備蓄しておきましょう。

- 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 地震から身を守るための10箇条
- 1 グラツと来たら身の安全
- 2 素早い消火・火の始末
- 3 窓や戸を開け出口の確保
- 4 火が出たらみんなで消火
- 5 慌てて外へ飛び出さない
- 6 狭い路地、塀ぎわ、崖、川べりに近寄らない
- 7 山崩れ、崖崩れに注意する
- 8 避難は徒歩で、荷物は背負って最小限にする
- 9 隣近所協力し合って助け合い
- 10 正しい情報、確かな行動

地震の揺れは、最初「カタカタ」と小さな揺れから始まって、次に「グラグラ」と大きな揺れが来ます。和歌山県潮岬沖を震源とする南海トラフ地震が発生した場合、京都では地震発生から20数秒で最初の揺れが来て、さらに20数秒後に大きな揺れが来ると想定されています。
携帯電話やスマートフォンには地震の前兆を知らせてくれる「緊急地震速報」という仕組みがあります。「あ、地震だ!」と気が付いたら、すぐに大きな揺れが来ると考えて、直ちに身を守る行動をしましょう。
地震の揺れは長くて3分、この時間帯を生き抜くことが必要です。

地震から身を守るための10箇条

